

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

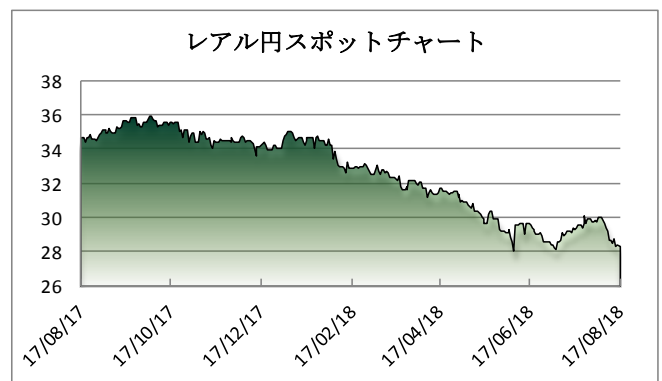
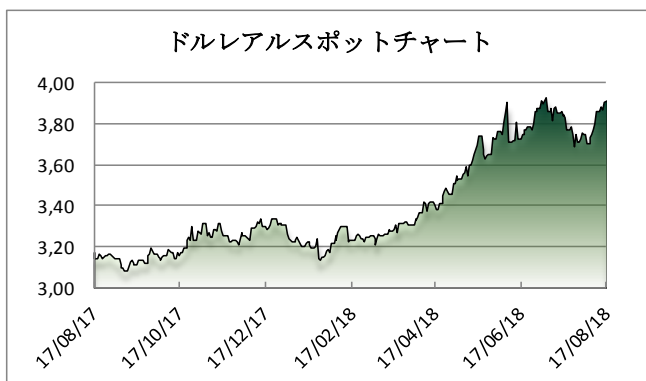
マーケットサマリー

先週末のドルレアルスポット相場は、米中貿易摩擦を巡る懸念やトルコショックを契機とした新興国通貨全般のボラティリティ上昇を背景に取引開始直後に3.95台前半までレアルは急落。その後は買い戻しが優勢となり、3.91台前半で取引を終えた。週明けのマーケットも引き続きリスク回避の動きがグローバルで強まっており、レアルが今年最安値の3.96台を突破し、4レアルに接近するかどうかは今週は注目が集まる。トルコを巡る状況も依然として芳しくない。格付会社S&Pとムーディーズは17日、揃ってトルコの信用格付けを引き下げると表明(S&P:「BB-」→「B+」、ムーディーズ:「Ba2」→「Ba3」)。その理由として両社は、リラ相場の不安定性やインフレの急加速、経常収支赤字が同国経済を弱体化させる恐れがあることなどを挙げている(S&Pはさらに、経済的リスクが高まっているにも関わらず、トルコの金融・財政当局による政策対応はこれまでのところ限定的に留まっていると指摘し、2019年に景気後退に陥るとの見方も示している)。米中貿易問題も予断を許さない。米国は中国からの輸入品2000億ドル相当を対象とする追加関税に関して20-23日に公聴会を開催し、23日からは160億ドル相当に25%の追加関税を適用する予定。一方で、両国は貿易問題での行き詰まりを打開するため、11月にもトランプ大統領と習近平国家主席の会談を検討しているとも報じられている。いずれにしても、大統領選を含め、レアルを取り巻く内外の環境は当面不安定な状況が継続する見通し。

マーケットデータ

Indicator		Unit	8月16日	8月17日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,9069	3,9104	0,09%	1,87%	3,1210	3,9672
	対円	JPY	28,40	28,26	-0,49%	-3,89%	35,13	27,63
	対ユーロ	BRL	4,4421	4,4716	0,66%	-0,13%	3,8531	4,6831
円	対ドル	JPY	110,90	110,50	-0,36%	-2,11%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	126,17	126,40	0,18%	-3,98%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	76.819	76.029	-1,03%	-2,69%	88.318	69.069
CDS Brazil 5yrs		bps	237,10	240,92	1,61%	-1,54%	285,83	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	11,74	11,87	1,11%	4,00%	12,40	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)		%	6,67	6,66	-0,08%	-0,82%	7,88	6,21
3 Months US Dollar Libor		%	2,3223	2,3119	-0,45%	-1,28%	2,3691	1,6959
CRB Index (国際商品指数)		Index	188,38	188,74	0,19%	-1,23%	206,95	186,74

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。